

# 安全安心まちづくり通信

## ～ 犯罪の起きにくい地域づくりを推進しましょう ～

犯罪の起きにくい地域づくり・・・そもそも犯罪が起きやすい場所とはどのようなところなのでしょう？

今回は、犯罪が起きやすい場所や犯罪を起きにくい地域づくりについて紹介します！

### 犯罪が起きやすい場所ってどんなところ？

#### 1 「見えにくい場所」

犯罪を犯そうとする者が一番嫌がるのは「見られること」つまり、

##### 【周囲から見えにくい場所】

例) 高い壁に囲まれた駐車場・公園、マンション等の非常階段、背の高い草木が生い茂っている場所など



##### 【暗くて人通りが少ない場所】

例) 街灯が少ない道路、普段から人(車)通りが少ない道路(裏通りなど)



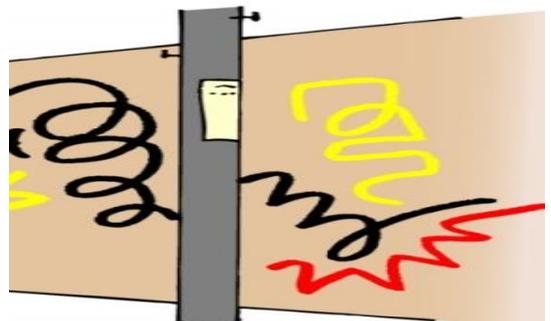
は、犯罪が起きやすい危険な場所といえます！

**「見えにくい」は「隠れやすい」「逃げやすい」に繋がります**

#### 2 「環境が整備されていない場所」

「落書きやゴミが放置されている」「草木の手入れされていない」等の場所

**「地域の目が行き届いていない」「地域の環境整備への関心が低い」等と感じさせ、狙われやすくなる(犯罪者に犯罪の機会を与える)**



# 犯罪の起きにくい地域をつくるには？



## 1 地域で情報を共有する

犯罪の起きにくい地域づくりのためには、地域全体で安全安心に対する意識を高める必要があります。

そのためには、

**○地域における危険箇所**

**○地域で発生している犯罪や被害防止対策**

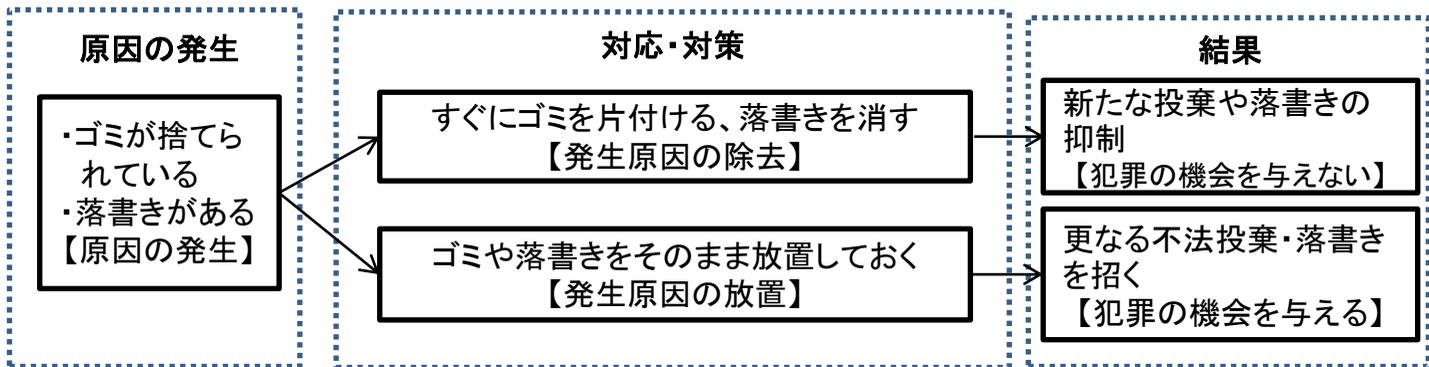


などの情報を地域で共有し、地域全体の防犯意識を高めていきましょう！！

## 2 犯罪の起きにくい環境づくりを行う

「**犯罪機会論**(※)」という考え方があるように、犯罪が起きやすくなるような要因を除去し、環境整備を行うことは、犯人に犯罪の機会を与えないこととなり、犯罪の起きにくい環境に繋がります！

↓↓↓例えば、不法投棄や落書きを例にして考えると以下のとおりです↓↓↓



「犯罪の起きにくい環境づくり」のための活動例として、

**○地域の美化活動(花いっぱい運動・清掃活動・草木の手入れなど)**

**○あいさつ運動**

**○危険箇所への防犯カメラの整備**

などが有効といえます。



※「**犯罪機会論**」とは、犯罪の発生した環境を分析し、犯罪発生の原因を発生場所から除去することによって、犯罪者に犯罪実行の機会を与えないようにし、犯罪を未然に防止しようとする考え方をいいます。



## 3 地域全体で防犯活動に取り組む

地域における防犯活動を活発化することは、犯罪の抑止に繋がります！



**○青色防犯パトロール車によるパトロール活動**

**○日常生活の中で見守りを行う「ながら見守り」活動**

などを地域全体で推進しましょう！！

